

第3回 第2次加賀市ガーデンシティ構想推進プラン検討委員会 議事録

1. 日 時 令和4年 3月22日（火）10:00～:12:00

2. 場 所 リモート及び加賀市役所別館304会議室

3. 出席者 委 員 5名
(委員長) 坂 本 英 之
(委 員) 佐 藤 留 美
田 畑 智 日
辻 寛 子
山田 真名美
オブザーバー 3名 稲 田 純 一
餘 久 保 陽
平 田 浩 一 (代理 田中 進一郎)
事務局 6名
建設部長
加賀市建設部都市計画課

4. 次 第

1. 開 会
2. 建設部長あいさつ
3. 議事
 - ・アクションプラン（基本方針1～3）
 - ・エリアごとの取り組み
4. その他
 - ・今後の予定
5. 閉 会

5. 傍聴者 なし（中日新聞）

6. 議事内容

◆事務局

本日は、ご多用のところお集まりいただきありがとうございます。只今より、第3回第2次加賀市ガーデンシティ構想推進プラン検討委員会を開催いたします。

委員総数5名全員にご出席をいただき、「第2次加賀市ガーデンシティ構想推進プラン検討委員会要綱」第5条第2項の会議成立要件を満たしていることをご報告いたします。

それでは、開会にあたりまして、建設部長 嶽野 一義がご挨拶申し上げます。

◆嶽野建設部長

第2次加賀市ガーデンシティ構想推進プラン検討委員会の皆様、年度末のご多用のところ本委員会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置も全国的に解除され、また、3月に入り少しずつではありますが暖かくなってきております。そんな中、人の動きも徐々に始まり、観光客をはじめとする来訪者の増加が予想されるほか、市民の緑化活動やレクリエーションなど屋外での活動もますます盛んになると考えられます。皆様にご検討いただく本市のガーデンシティ構想推進プランは、この様に本市を訪れる人や住んでいる人に対し、これぞガーデンシティと感じてもらえるようになるためのものです。また、市長が第1回の委員会でも申し上げましたが、加賀市に来ていただいた方に、これは一見の価値ありと思っていただける、まち全体をガーデンと見立てた、観光振興に寄与するものにしたいと考えております。皆様方には、策定後直ぐにアクションを起こせるよう、ポイントを絞ったプランとなるよう意識してご検討いただき、推進プラン策定後も、本市に対してお力添えを賜りますようお願い申し上げ、私からのご挨拶といたします。

◆事務局

前回ご意見いただいた内容につきまして、委員長にご確認いただきながら修正したものを、皆様に送付し、ご意見をいただきました。検討委員会資料の1、2、3ページがご意見を反映したものになりますが、送付した資料の記載内容から大きく変化したところはありませんでしたので、ご説明については割愛させていただきます。

それでは、検討委員会要綱に基づき、これよりの議事進行を坂本委員長にお願い致します。

◆坂本委員長

おはようございます。これまでの委員会ではテーマやコンセプトについて議論し、抽象的な内容ではありましたが、非常に重要な議論ができたと思います。今回からはアクションプランについて議論していただく予定ですが、今後議論いただくアクションプランは、より具体的な実際の活動につながる内容なので、ますます重要だと思います。限られた時間にはなりますが、みなさま忌憚のないご意見をお願いいたします。

議事1 アクションプラン（基本方針1～3）

◆坂本委員長

それでは、アクションプランの基本方針1から3について、事務局よりご説明してください。

◆事務局

（説明）

◆坂本委員長

こちらに関して、ご質問やご意見があればお願いいたします。

◆山田委員

資料5 ページ記載のアクションプランについてですが、オレンジ色と青色の色分けは何か理由はあるのでしょうか。

◆事務局

基本方針は1、2、3と3つあり、それぞれ2つずつアクションプランを設けています。また、このアクションプランに属する、エリアごとの取り組みがあり、これがどちらのアクションプランに属しているかを表しています。

◆山田委員

承知しました。

◆佐藤委員

ガーデンシティという意味を広義に捉え、加賀市のさまざまなポテンシャルを引き出していけるような内容になっていると思います。

基本方針1の2に「地域の生態系ネットワーク」というキーワードを入れたのは非常に良いと思います。地域の生態系ネットワークというのは非常に重要ですが、見落とされがちです。しかし、世界的にもこのキーワードは、カーボンニュートラルと並んで主流化しつつあるので、ここに記載することは非常に意味があることだと思います。また、みどりと健康の関係性も、医療費の削減にもつながるとして、コロナ以降、ますます注目されています。「健康」というキーワードはどこかに記載されているのでしょうか。

◆事務局

これまでの委員会でもガーデンシティと健康の関わりについて、緑があることで人々は健康になるなど、健康に寄与する部分が大きいののご意見をいただきました。このご意見に関する計画への反映の仕方について検討しましたが、「健康」という言葉は入れていませんでした。しかし、緑の拠点を活かしたツーリズムづくりなどに関わってくると考えられるので、こちらに「健康」のキーワードを記載し、健康ツーリズムなどをPRしたいと思います。

◆佐藤委員

今のアクションプランですと、「健康」というキーワードはツーリズムの項に入るかと思いますが、ツーリズムという考え方をどう捉えるかが重要です。ツーリズムというと「外から人を呼んでおもてなしする」という印象があります。しかしコロナ禍以降、マイクロツーリズムが注目されています。これは地域の資源を地域の人たちが再発見してその恵みを享受するという観光の形です。私は、加賀市の自然の恵みを最大限活用することで、市民自身が健康になっていく、という視点を持ってこの取組みを進めることが、結果的に加賀市を元気にしてくれると考えます。素晴らしい景観、温泉、森林浴、新鮮な農作物、自然や農の体験、といった加賀市の魅力と、「健康」を結びつける視点をぜひ入れていただきたいと思います。市民が元気になれば、まちが元気になり、外にもその魅力が滲み出て、単に観光だけではなく、加賀市に住みたいと考える人が増えるはずです。

◆事務局

「基本方針2の場所の1 自然資源を生かしたガーデンシティの象徴となる拠点づくり」には、外から来る人に楽しんでもらう場所という意味もありますが、地域の人々がいきいきとした活動

が目に見える場所という意味もあります。ここにも「健康」というキーワードを入れ、記載の仕方を検討したいと思います。

◆ 餘久保オブザーバー

事務局の説明を聞いて、アクションプラン1と2は、主従の関係はないということを確認しましたが、基本方針1基盤と2場所のアクションプランに関しては、オレンジ色の方の1つ目のアクションプランが整備、水色の方の2つ目が保全・活用というように見えたので、基本方針3の景観に関しては、アクションプランの1と2を入れ替えたほうが、オレンジ色が整備、水色が保全・活用という傾向が揃うので、統一感のある資料になるかと思います。

◆ 事務局

報告書にまとめる際に検討したいと思います。

◆ 坂本先生

その他いかがでしょうか。これまでの議論が反映されているのではないかと思います。

議事2 エリアごとの取り組み

◆ 坂本委員長

議事2エリアごとの取り組みについて、事務局より説明お願いいたします。

◆ 事務局

(説明)

◆ 坂本委員長

アクションプランと結びつく拠点を選び出して、それについてさらに細かい詳細な地域の計画を示していただきました。これに関して、様々な角度からご意見いただけたらと思います。

◆ 餘久保オブザーバー

14ページの加賀温泉駅前エリアについて、「加賀温泉駅周辺からの緑の風景を望む視点場づくり」という説明がありましたが、3月に行われた石川県の都市計画審議会で、新幹線の車窓からの景観計画について県の考え方を説明されていました。その計画との整合性を図ってはいかがでしょうか。

そして、15ページの橋立港・海岸エリアについて、他の地域に比べると、アクションプランが少ないと思います。必ずしも数を合わせなくてもよいと思いますが、例えば、塩屋海岸から北潟湖や大聖寺川に至るエリアが入っていないので、それらのエリアについてもアクションプランを検討してはいかがでしょうか。個人的には、橋立の集落から海岸の方へ歩いていくと、竹林があり、周りの住民の方の取り組みが見える景観面の工夫もありますので、それらも対象になる可能性があるのではないかと思います。

◆ 田中オブザーバー

今の餘久保オブザーバーのご意見にもありましたが、新幹線からの眺望計画について、このプランの一つの要素として、取り入れていただければ幸いです。

◆坂本委員長

新幹線からの白山眺望について、これまで県とJRが協働で進めてきた「眺望計画」は、施行に向けて進んでいる状況だと思います。本プランの加賀温泉駅からの眺望の内容について、この眺望計画との整合性がとれると良いと思います。また、白山眺望に関しては、片山津の柴山潟からの白山眺望点としての整備も進んでおり、実際に石川県の眺望の特別エリアとして選定されているので、それらも関連してくると思います。

◆事務局

新幹線からの景観計画と本プランは合致する部分が多いと思うので、県の考え方をヒアリングさせていただき、この計画に反映したいと思います。そして、橋立港・海岸エリアのアクションプランが少ないことに関してのご意見ですが、他とのバランスも考え、アクションプランの追加を再検討したいと思います。

◆坂本委員長

橋立港・海岸エリアには、この度選定された加賀海岸地域の文化的景観の範囲に入っているのでしょうか。

◆事務局

文化的景観の区域は、橋立地域の一部、片野海岸から塩屋海岸までが含まれており、ほぼ大聖寺地域のことになってしまいます。

◆坂本委員長

文化的景観については基本方針1の基盤に入りますが、一つの要素として考えていただけると良いと思います。

◆山田委員

今回のアクションプランについて、資料3ページに記載の課題に紐づけられていると理解しました。前回までの議論で、これらの課題は、ハードの整備だけで変わるものではなく、今の市民の皆さんの意識を変えないと解決しない問題だと思いました。そう考えると、課題の構造と、提案されている内容が、解決策として示されているのかというところに疑問があります。今回の提案は、ハードの整備がメインですが、そもそも、ハード面の整備とソフト面の市民や地域の方々の活動が一緒に書かれていないことに、少し違和感を感じます。むしろ、仕組みと人が先にきて、その後にハードの1と2と3が入るという構成でいかがでしょうか。また、新しくつくる場所というのは、管理費がかかったり、担い手が必要となってくるとと思いますが、そのあたりはどのように解消されていくのでしょうか。

◆事務局

市民との関わり、意識醸成という面が大事ということで、私どももそこが今回のプランの肝になると思っています。今回説明した基本方針1、2、3はハード面寄りですが、この後検討予定である基本方針4、5がこの水と緑を有効活用する仕組みづくりと、携わる人とコミュニティづくりといった人づくりの内容になります。次回の基本方針4、5の部分で、ご指摘がありました部分を包含したいと考えております。

◆山田委員

仕組みと人が基盤にあって、その上にハードがあるのではないのでしょうか。そこを別々に考えるのではなく、地域の人や外からくる人がどのようになって欲しいかで、こういった場所や道が必要だという議論ができると良いと思います。

田園部で、ビオトープの再生と子どもの教育環境を絡めたアクションプランがありますが、現時点でも、加賀市内の子どもたちを対象とした自然体験や環境教育に取り組む一般社団法人や、生物多様性の保護に関して最近では環境に対する意識の高まりから、民間主導で浜辺の清掃に取り組む団体があります。そういったプレイヤーがたくさんいる中で、市民の意見を基にどういったハードが必要なのかを、ソフトとハードを分断するのではなく、寄り添い合い、掛け合わせながら進めていただきたいと思います。

◆事務局

実際のプレイヤーの意見を汲み取りながら、これまでの行政主導ではなく、プレイヤーや市民のニーズに答えられる様にヒアリングを行い、取り組みを進めていきたいと思っています。基本方針の1～5（基盤、場所、景観、仕組み、人）の順番を、ご指摘いただいたように、人の活動があってこそという形で順番を入れ替えたいと思います。以前に策定した「緑の基本計画」でも人が重要ではないかという意見をいただき、順番を入れ替えました。今回についても順番の再構成を検討したいと思っています。

◆稲田オブザーバー

山田委員からのお話に、シンガポールでの経験談を追加させていただきます。加賀市民の方のコンセンサス、思いやサポートといったことが非常に重要だと思います。シンガポールでの経験で恐縮ですが、1983年から10年ほどガーデンシティの政策に関わっておりました。シンガポール政府は、ガーデンシティは1965年の独立時にガーデンシティを目指すこととしましたが、当初はガーデンシティとは何か国民にもあまり理解されていませんでした。20年経った1985年に、公園の利用者に「ガーデンシティについてどう思うか」というアンケートをインタビュー形式で取りました。結果としては、ほとんど一般の方に認知されていませんでした。また、目指している部分に関しても、具体的な共有もそれほどなかったということを覚えています。現在は、国際的にガーデンシティとして知られる国となりましたし、小さな国ですが、イギリスにも負けない、イギリスとは違う、シンガポールらしいガーデンシティを実現してきたと多くの国民が誇りに思うようになりました。

その間には、シンガポール政府からキャンペーンを打つことや、コミュニティガーデンということで、住民参加に非常に力を入れております。山田委員がおっしゃったように、行政だけ、民間だけでやれることではないと思いますので、行政と民間の協働でやっていけるように、行政が努力しながら進めていくことが必要だと思います。

◆事務局

シンガポールでも最初は、ガーデンシティの認知が国民になく、キャンペーンを打ったのですが、加賀市にとっても周知が課題だと考えております。そういった部分でどのような方法が有効だったかなど、今後お聞かせいただきたいです。

◆田畑委員

基本方針の4と5の仕組みと人に関して、緑の基本計画策定委員会の委員だったのですが、確かに、「人と仕組み」が最初に来るのではないかと議論がありました。緑の基本計画が前提になるとしますので、今回のプランについても「人」が最初に来た方がよいのではないかと思います。

◆辻委員

先ほどから様々な良い意見を聞かせていただき、ありがとうございます。

市民の方々がいかにして、自分の地域を綺麗にしたい、緑を使いたいという思いを向上できるかということを常に考えております。現在加賀市が実施している年に2回の花苗の配布で、花が好きな人たちや老人会に花を配っていますが、苗数があまりにも少なすぎます。皆がいろんなことを考えて、こうしたいと思っても、自分たちが思っているよりも半分以上しか苗が手に入らず、がっかりしてしまいます。せっかくここまでやってきたのに、「苗が少ないからやめるか」ということにならないようにしてほしいと思います。市内各所で花の活動をしている方々がいらっしゃいますが、地域の方々がやっていて楽しく、皆さんからの「綺麗になったね」という言葉が彼ら彼女らの最大の励みになりますので、老人会や婦人会など協力していただける方々に最大限のものを与えることが一番大切ではないかと思います。

◆事務局

花苗の配布でございますが、市民の皆様に緑やお花に携わっていただくきっかけづくりとして行っており、緑に対する意識醸成を図り、将来的には、自主的に花や緑を育てていただきたいと考えています。

◆辻委員

もう一つお聞きしたいのですが、柴山潟を一周できるようにするのは難しいのでしょうか。柴山潟の素晴らしい景観を一周できると良いと思います。

◆事務局

未舗装部分も含みますが、新幹線の開業までには、一周できるように計画しており、柴山潟湖畔公園から加賀観光ホテル、大江戸温泉までの区間については令和5年までに整備する予定です。

◆辻委員

最終的に一周することは可能なのでしょうか。

◆事務局

他の部分は整備されているので、県道や市道を通る部分もありますが、歩けるようになる予定です。

◆辻委員

たくさんの方が木場潟まで散歩されるので、柴山潟を整備しないのは勿体無いと思います。

◆坂本委員

木場潟には、関西などからもたくさんの方がいらっしゃるようですが、柴山潟についても一周できるようになるということは魅力になると思います。

先ほどの花苗配布のことについて、なかなか難しい部分だと思いますが、継続して考える余地があるのであれば、なんらかの予算措置があっても良いのではないかと思います。

おもてなしという言葉について、以前にも観光客ではなくて、住民の方々が楽しめるようにしていくべきという話がありました。おもてなしの考え方についてももう少し広げて考えて行くべきなのではないかと思いました。

◆山田委員

行政が材料を支給し続けるのは難しいということですが、以前ご紹介した千葉県のハローガーデンでは、公園でのイベントで、花壇の作成費用を提示したり、お花や種の寄付の呼びかけを行っています。今回のプランでは緑を活用できる団体やプレイヤーが市民の方々の協力を求める仕組みを取り入れていくと良いと思います。また、市民の方々から「お花が足りない」などの情報を教えてもらうことで、課題を知ることでもできると思います。直接的な支給も大事ですが、間接的に発展できるような資金の循環をつくれると良いと思います。

◆辻委員長

私たちが活動している「はなはな会」では、自分たちの家の種や苗を持ち込んだり、寄付を募ったりしています。加賀市の老人会の方々も積極的に活動していただいています。市のフォローがあるとより動きやすいと思います。

◆佐藤委員

この壮大な計画を、どう実現するのか、具体的なアクションプランが重要です。基盤となる自然保全については書き込まれていますが、それらをどう活用するかはあまり書かれておらずイメージがつきにくいと感じます。地域の資源を活用するためには、各エリアで活動するプレイヤーのみなさんの活動や、歴史的な文化施設など、既存の資源をきちんと掘り起こしていくことが重要です。ゼロから立ち上げるよりも、すでに「ある」ものから広げていくほうが近道だと思います。そこで活動する、住んでいる地域の市民と、外からの客観的な視点をもたらす専門家などと一緒に計画をつくっていきけると良いと思います。

計画をつくるにあたっては、エリアを絞って、そこで社会実験的に実施し、成功体験をつくり、それをモデルに横展開していきけると良いと思います。すでに活動が起きているエリアで、活動している方々や地域の小学校や自治会にヒアリングをしたり、専門家を交えたエリアミーティングを行うと良いと思います。そしてみんなで、そのエリアの自然環境、社会環境、両方の資源を掘り起こし、その組み合わせで何ができるかを考え、優先順位をつけて取り組んでいきます。

もう一点は、普及啓発、つまりメディアを活用して情報を発信すること、そしてブランディングです。メディア活用という点、私たちがまちづくりで重要視しているのがローカルメディアです。これから必要になるのは、観光客を呼び寄せる発信の仕方より、市民自身がこの地域に誇りを持つ発信の仕方です。その意味で、地域視点のローカルメディアを扱っている方々と組むことが大切です。「加賀ぐらし」など、山田委員がなさっているご活動はまさにそういった視点が含まれていると思います。

また市民の活動に観光客も参加できるような流れができると、関係人口が増えて、ここに通いたい、住みたいと思ってもらえます。見るだけのツーリズムではなく、観光客にも花を受けても

らったり、森の手入れに参加してもらおう。加賀市のガーデンシティ「づくり」に外と中の人を楽しみながら一緒に取り組む。そういう参加型のガーデンツーリズムをやっていくべきだと思います。イギリスなど海外では気軽に誰でもボランティア活動ができる機会があり、私も行くたびに参加しています。そういった仕組みを加賀市でも作れると良いと思います。

もうひとつ、重要な視点は「教育」です。教育分野とみどり分野は、行政の縦割りもあって、あまり連携がうまくいっていません。まちが元気になるためには、地域教育に力を入れることが最大の近道です。地域の自然や歴史を子どもたちが学ぶ場はたくさんあります。例えば鴨池観察館は素晴らしい施設がありレンジャースタッフもいらっしゃいます。しかし教育機関とつながる仕組みが乏しいと思います。子どもたちは加賀市の未来を担う財産です。すでにここに「ある」ものを組み合わせるだけで、地域愛が育まれ、地域づくりを担う人財が育つ仕組みをつくることができます。

最後にもう一つ、資源循環の視点を組み込めると良いと思います。例えば雑木林の保全をすれば、定期的な伐採で材が発生しますし、落ち葉もあります。それらはバイオマスエネルギーや堆肥として活用することができます。農作物などもそうですし、地域全体の資源循環についてもガーデンシティの政策に盛り込んでほしいと思います。

今、先進都市では、みどりと市民参加が、まちの活性化につながるということで、政策に盛り込まれています。いま注目されているパリの緑化政策の事例をチャットに送りました。誰もが楽しみながらガーデンシティづくりに参加し、そのことで地域が元気になり、外からの人々も呼び込める、そんなまちづくりができると良いと思います。

◆事務局

活用のイメージができないというお話がありましたが、この部分はもう少し見直していきたいと思います。活用に関しては4、5がメインですが、不足していると思いますので、補足していきたいと思います。佐藤委員のご意見を聞いて、地域資源を掘り下げていく中で、固定した書き方ではなく、含みを持たせた書き方が必要だと思いました。時代は目まぐるしく変化しており、ニーズにあった形で計画も変化していかなければいけないと思います。これらも踏まえて記載の仕方を検討していきたいと思います。

また、モデル事業の展開に関しても検討したいと思います。実際に活動されている地元の方々の声を聴きながら一緒になってやっていくモデル事業が必要だと思いました。学校教育に関しても触れていなかったのも、検討したいと思います。

◆佐藤委員

今の計画は基盤の整備が主ですが、加賀市がこう変わる、こんな素敵なまちになる、といったビジョンマップができると良いと思います。そこでは、市民や観光客と一緒にガーデンシティづくりに参加し、水とみどり、花、人びとの笑顔が溢れています。そういうイラストで表したビジョンマップがあることで、方向性や思いがひとつになり、こんなまちにしようと、各エリアでの活動も活発になっていくはずだと思います。

◆山田委員

今回、示していただいた加賀温泉駅エリアについてですが、今年度発表された「加賀ライズタウン構想」と「ガーデンシティ構想」は深く関係するものだと思います。それぞれがバラバラの取り組みにならないように連携していただけると良いと思います。

◆事務局

加賀ライズタウン構想は、加賀市の未来に向けた目玉となる取り組みです。ガーデンシティ構想も同様です。それぞれの構想に齟齬や分断が起きないように、取り組んでいきたいと思えます。

◆坂本委員長

以前、稲田オブザーバーから市長直属の部署が必要だというご意見をいただきましたが、今後、必要になってくるかもしれません。

他にご意見はないでしょうか。

これ以上ご意見はないようですので、まとめに入りたいと思います。

今回の委員会では、計画案の全体を俯瞰しながら細部に渡るご意見をいただき、ありがとうございます。今後の予定等に関して事務局からご説明お願いいたします。

◆事務局

いただいたご意見を踏まえて見直しを行い、次回の第4回の委員会では、仕組みや人の部分に特化したいと思えます。そこでいただいたご意見を反映し、第5回の委員会を8月ごろに行いたいと考えています。第5回の委員会を開催した上で、パブリックコメントを行いたいと思えます。その後、パブリックコメントでいただいたご意見を反映し、委員会にご了承いただいたものを市議会などで報告した後、10月には第2次ガーデンシティ構想推進プランを公表したいと考えております。

◆坂本委員長

スケジュールに関してご意見ある方はいらっしゃいますか。いらっしゃらなければ、このスケジュールで進めていただければと思えます。それでは、進行を事務局にお返ししたいと思えます。

◆事務局

これをもちまして、第3回第2次加賀市ガーデンシティ構想推進プラン検討委員会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。